

グローバル社会学特論BⅡ

科目ナンバリング SOC-330
選択 2単位

山下 雅之

1. 授業の概要(ねらい)

フランス社会学の始まりは19世紀前半のオーギュスト・コントによる実証主義からといわれている。その理論的な展開を理解し、またその後の社会学の発展にどのように受け継がれていったのかを把握する。フランスの現代のマンガや社会問題などにもアプローチし、同時に現代の日本の文化事象について比較参照する。
基本的には、参加者の問題関心に合わせ、授業内容をカスタマイズする。

2. 授業の到達目標

フランス社会学の起源とされる思想と、その歴史的な背景について一定の理解を得た上で、これを継承したとされるエミール・デュルケム社会学について概要を学ぶ。
少人数の参加者により、各自の問題関心を優先する形で、その深化をめざす。

3. 成績評価の方法および基準

授業内容を十分に理解し、自らの問題意識と重ね合わせてゼミで発表することができるかを総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

山下雅之 コントとデュルケムの間:1870年代のフランス社会学 木鐸社

参考文献

エミール・デュルケム 社会学的方法の規準 岩波文庫

山下雅之 フランスのマンガ 論創社

東 浩紀 動物化するポストモダン 講談社新書

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する資料の自主的な学習

各人の問題関心に合わせた十分な準備特に授業内でのプレゼンの活用を念頭に置く。

資料としては文献だけでなく、ネット上の文字データや画像、動画を活用できるようにする。

また日本語のサイトだけでなく、よりグローバルな視点から海外の外国語による情報も視野に入れてください。

6. その他履修上の注意事項

各自の問題関心を明確にし、その関連分野から資料を集め、分りやすくまた視覚的要素を重視してプレゼンの資料を作成して下さい。

以下の授業内容は一例です。具体的な内容は参加者との相談で決めて行くよ・・・

7. 授業内容

- 【第1回】 コント思想の影響力
- 【第2回】 実証主義の拡大
- 【第3回】 新しい人文社会科学の発展
- 【第4回】 デュルケムと普仏戦争
- 【第5回】 共和政とドイツ思想の影響
- 【第6回】 新たな学問分野の確立
- 【第7回】 社会学と社会の変化
- 【第8回】 有機的社会の姿
- 【第9回】 社会学の対象と方法の革新
- 【第10回】 デュルケム社会学のライバルたち
- 【第11回】 社会の発展に伴う弊害
- 【第12回】 人類学の基礎
- 【第13回】 植民地主義の学問的影響
- 【第14回】 宗教現象と社会表象
- 【第15回】 デュルケム社会学とコント